

事業報告



ゆうちょ銀行

事業の経過及び成果（2020年度の業績）

招集ご通知
28頁

 ゆうちょ銀行

■ 業績

連結当期純利益

2,801 億円

業績予想

2,700 億円

103.7% 達成

中計目標

2,800 億円

100.0% 達成

■ 配当

1株当たり配当金

50円

配当性向

66.9%

事業の経過及び成果（2020年度の業績）

招集ご通知
40頁

 ゆうちょ銀行

■ 前中期経営計画（2018年度～2020年度）の振り返り

厳しい経営環境下、目指す姿に向けた基盤固めを着実に遂行

お客さま本位の
良質な金融
サービスの提供

「貯蓄から資産形成」、
決済サービス充実等の取組み
を推進し、役務取引等利益は
17年度比＋32％増加

地域への
資金の循環等

地域金融機関と連携し、
地域活性化ファンドへの出資
（累計32件）等を推進

運用の
高度化・多様化

リスク性資産残高を91兆円、
戦略投資領域※残高を
4.2兆円まで拡大

※プライベートエクイティ、不動産等

経営管理態勢の強化

■ 中期経営計画（2021年度～2025年度）の基本方針

“ 信頼を深め、金融革新に挑戦 ”

～ビジネスモデルの変革と事業のサステナビリティ強化～

- | | | |
|---------------------------------------|----------|------------------|
| ① リアルとデジタルの相互補完による
新しいリテールビジネスへの変革 | DX
推進 | ESG
経営の
推進 |
| ② デジタル技術を活用した業務改革・生産性向上 | | |
| ③ 多様な枠組みによる
地域への資金循環と地域リレーション機能の強化 | | |
| ④ ストレス耐性を意識した市場運用・リスク管理の深化 | | |
| ⑤ 一層信頼される銀行となるための経営基盤の強化 | | |

対処すべき課題（中期経営計画の概要）

招集ご通知
40頁



■ 中期経営計画（2021年度～2025年度）の財務目標

※ 連結ベース		2020年度実績	2023年度目標	2025年度目標
収益性	連結当期純利益	2,801億円	2,800億円以上	3,500億円以上
	ROE(株主資本ベース)	3.06%	3.0%以上	3.6%以上
効率性	OHR※1	72.34%	72%以下	66%以下
	営業経費(2020年度対比)	—	▲250億円	▲550億円
健全性	自己資本比率(国内基準)	15.53%	10%程度 (確保すべき水準)	10%程度 (確保すべき水準)
	CET1比率※2(国際統一基準)	14.09%	10%程度 (確保すべき水準)	10%程度 (確保すべき水準)

※1 金銭の信託運用損益等を含むベース。 ※2 その他有価証券評価益除くベース。2025年度目標はバーゼルⅢ完全実施ベース。

■ 中期経営計画（2021年度～2025年度）の株主還元方針

- 株主還元・財務健全性・成長投資のバランスを考慮し、中期経営計画期間中(2021年度～2025年度)は、基本的な考え方として、配当性向は50%程度とする方針。
- ただし、配当の安定性・継続性等を踏まえ、配当性向50～60%程度の範囲を目安とし、1株当たり配当金(DPS)は、2021年度の当初配当予想水準からの増加を目指す。

1株当たり配当金(DPS)予想:40円
配当性向予想:57.6%



■ 中期経営計画（2021年度～2025年度）の基本方針

“ 信頼を深め、金融革新に挑戦 ”

～ビジネスモデルの変革と事業のサステナビリティ強化～

- ① リアルとデジタルの相互補完による
新しいリテールビジネスへの変革
- ② デジタル技術を活用した業務改革・生産性向上
- ③ 多様な枠組みによる
地域への資金循環と地域リレーション機能の強化
- ④ ストレス耐性を意識した市場運用・リスク管理の深化
- ⑤ 一層信頼される銀行となるための経営基盤の強化

DX
推進

ESG
経営の
推進